令和８年度

すくわくプログラム活動報告書

（実施対象：０～５歳児クラス）

モニカ都立大園

テーマ

光と影の探究

設定理由

園庭で太陽に照らされた木々を見て、葉と葉の間からこぼれる光や、地面にできる葉の形の影に気付き、じっと見つめる姿があった。また、水に光が反射してできる影にも気づき、その動きを観察する姿もあり、様々な条件での光と影に出会い、更に光と影の関係性の面白さを知ってほしいと思い、テーマを設定した。

対象クラス　０～５歳児クラス・６８名

活動のねらい　光と影の関係性を知る

キーワード　「どんな風に見える？」
「これについて教えて？」

活動期間　令和８年５月～７月

活動回数　計３回

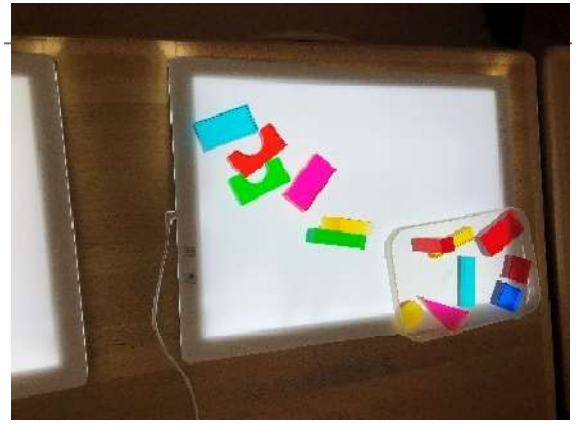
活動① ライトテーブル

準備物

ライトテーブル
アクリル積み木
カラービニールシート

環境構成

薄暗くした保育室。
子ども2〜5人ずつ、
保育者1〜2人。





活動② シアターで表現する

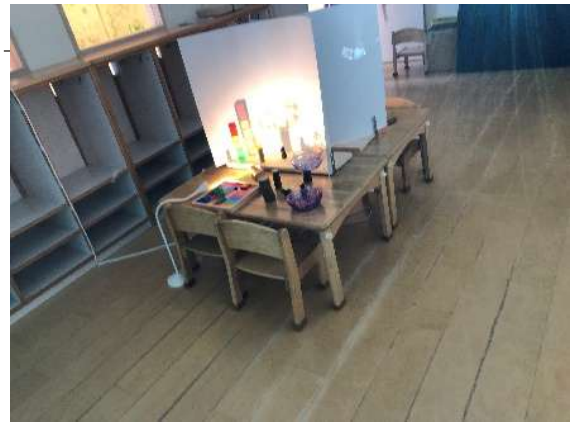
準備物

シアター（手作り）｜アクリル積み木
積み木｜クリップライト｜カラーカップ

環境構成

薄暗くした保育室。
子ども1〜2人、
保育者1人。





活動③

壁に映る影

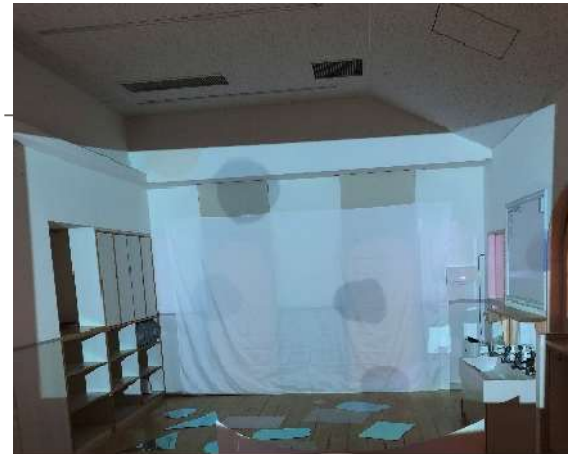
準備物

白布｜オーロラフィルム
複眼シート｜プロジェクター

環境構成

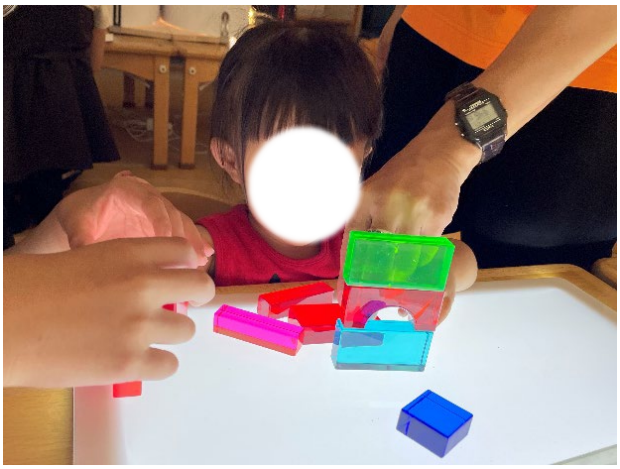
薄暗くした保育室。
子ども2〜5人ずつ、
保育者1〜2人。

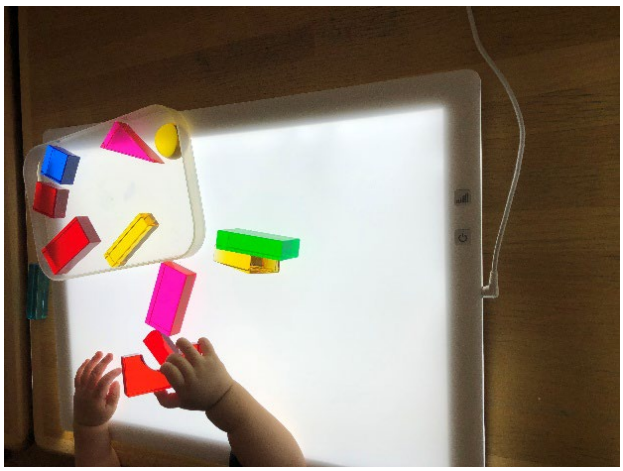




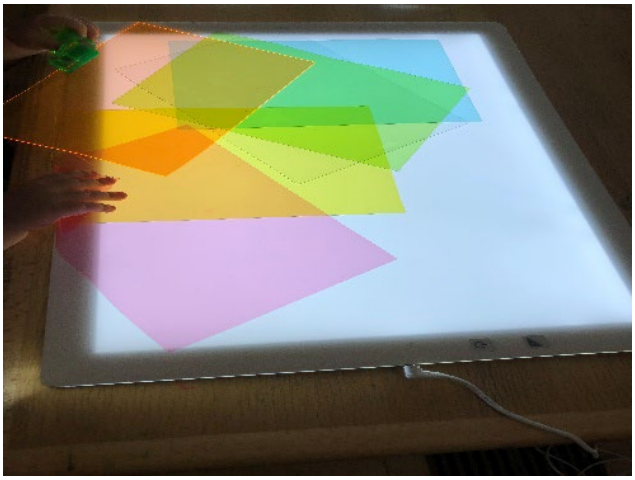
活動①　ライトテーブルと透ける素材　　R8 年 5 月

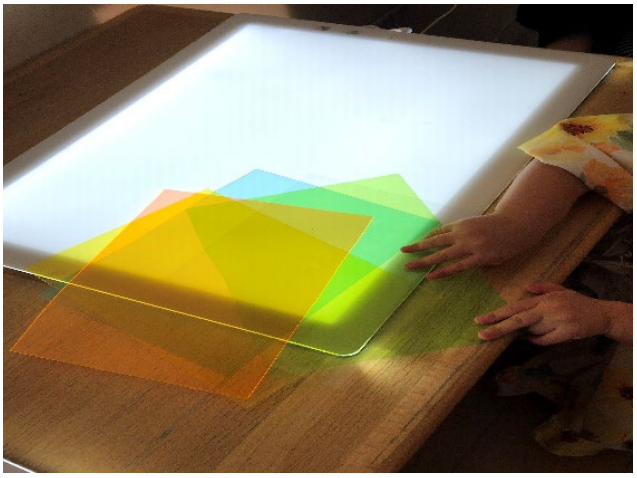
ライトテーブルの上にアクリル積み木を置いてみる。





薄暗い空間でライトテーブルに置くと光を通してはっきりと色が見える。
「重ねてみるとどうなる？」「並べてみるとどうなる？」と手が動く。
重なることで色が変わる不思議。
「赤の上にピンクを置くと、こんな色。でもピンクの上に赤を置くとこんな色になるよ」
同じ組み合わせの色でも重ねる順番で色が変わって見えることにも気づいていく。



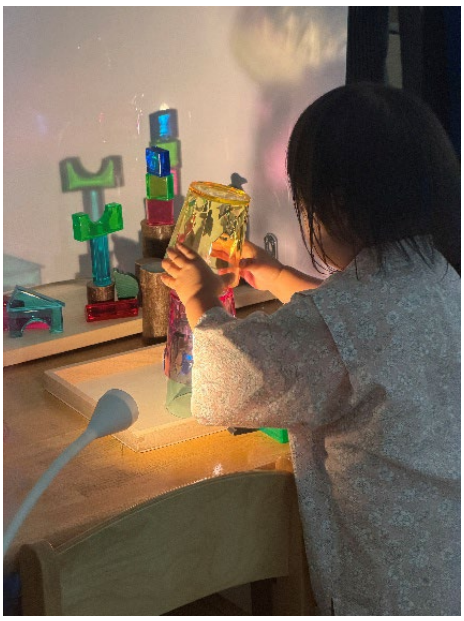


透ける素材、カラービニールシート。
2 枚、3 枚…と何枚も重ねて色の変化を楽しむ子どもたち。
沢山重ねても光が通り、複雑な色になる。
時折シートを目に当て、ライトテーブルを覗き込む姿もあった。
何度も重ねて覗き込み、光の世界へ引き込まれていく。

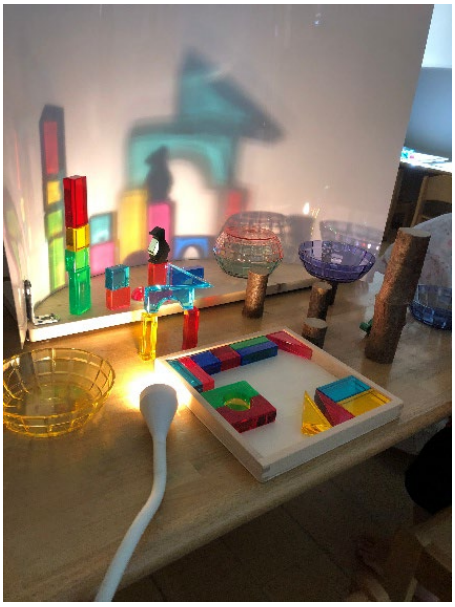
活動②　シアターで表現する　　R8 年 6 月

「あっ！同じ！」
同じ形の影が映し出される。
積み木を増やしたり、入れ替えたり。
「あれ？大きくなった？」
積み木や枝よりも大きくなった影。
「こうすると小さくなるねぇ」
積み木を手前や奥に動かす手。





「見て！みどりいろの影！」
色が影にも反映することに気付く。
「え？このコップも！きれい～！」



「ここ、色が変わるんだよ」
重なった部分の色の変化も楽しむ。
「うわぁ！大きなぞう？街をお散歩しているみたい」
ライトを動かすと偶然に浮かび上がる物語。

「ここは動物の世界だよ。大きな塔があるし、大きいゾウもいる。」
「うわぁ。綺麗な模様。氷みたい！氷があるならペンギンさんもいるね」
「このペンギンさんは、ゾウに乗りたくて、積み木を登っていくんだよ」

活動③　壁に映る影

R8 年 7 月



「(オーロラフィルムの）中に僕がいるよ」
フィルムを上下左右に動かす。
影の自分はどれも通り抜けるように見える。
「えっ？！」と声を出しながら何度も何度も試す。



「この色にするの難しいんだよ。
少しでも動くと色が変わっちゃうんだ」
壁に向かって細かくシートを動かす。
好きな色を映し出そうと集中して調整する。

使用物

アクリル積み木｜カラービニールシート｜オーロラフィルム
塩ビシート（シアター）｜白段ボール｜複眼シート｜クリップライト
リベットダンバスステンレス（シアター）｜カラーカップ｜変換プラグ

テーマ：光と影の探究

全体の振り返り

「なぜ影が大きくなったり小さくなったりするのか」「角度によって変わる反射の色」など、多くの疑問や気づきがあった。光と影の世界に没入し、魅力に引き込まれていく中で、偶然できる形や色から物語も生まれていった。また、幼児の行動で起こった変化に乳児が興味を持つ等、一緒に探究を進めようとする姿も見られ、活動に深みが増した。様々な場所に現れる光と影。その面白さや美しさに目を向け、没頭できるよう言葉掛けや環境設定を工夫し、子どもたちの光と影を通した自由な表現を大切にしていきたい。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ都立大園

〒152-0034
東京都目黒区緑が丘1-2-14
TEL:03-5726-9145
FAX:03-5726-9146